

## 病害虫発生予察注意報第 2 号

佐賀県

作物名：早期水稻  
病害虫名：斑点米カメムシ類



クモヘリカメムシ成虫

### 1. 注意報の内容

発生地域：早期水稻栽培地域  
発生量：平年より多い

### 2. 注意報発令の根拠

#### 1) イネ科雑草地での発生状況

6月15日～18日に行ったイネ科雑草におけるすくい取り調査(17地点)では、クモヘリカメムシが72.5頭(平年1.7頭)、ミナミアオカメムシが9.2頭(平年0.1頭)、ホソハリカメムシが4.0頭(平年1.2頭)と平年より多い(表1)。これらは斑点米の産出能力が高く、被害を生じやすい種である。

表1 イネ科雑草における斑点米カメムシ類のすくい取り調査結果(6月後半調査)

	クモヘリ カメムシ	ミナミアオ カメムシ	ホソハリ カメムシ	アカシジ カメムシ	シラホシ カメムシ類	イネ カメムシ
本年(R8)	72.5	9.2	4.0	46.4	0.5	0.1
平年比	多	多	多	並	並	並
平年	1.7	0.1	1.2	35.3	0.5	0.0
前年(R7)	0.4	0.1	1.7	14.6	0.1	0

注) 表中の数値は、すくい取り調査(捕虫網20回振り)における地点当たりの平均捕獲虫数。  
平年値は過去10年(H28～R7)の平均値。

#### 2) 今後の気象

九州北部地方の3か月予報(福岡管区气象台5月19日発表)では、6月～7月の気温は高いと予想されており、本虫の活動に好適な条件となる見込みである。

### 3. 防除上注意すべき事項

- 1) 水田周辺の雑草地(畦畔、休耕田、空き地等)は斑点米カメムシ類の増殖・飛来源であり、出穂直前以降の除草による水田内への誘い込みに伴う被害を防ぐために、除草作業は出穂10日前までに行う。
- 2) 薬剤防除は、穂揃い期及び乳熟期(穂揃い期の約10日後)の2回実施する(図1)。
- 3) イネカメムシは、他の斑点米カメムシ類と異なり、水稻の出穂始めから籾を吸汁して不稔及び基部斑点米を生じさせる。このため、出穂前にイネカメムシの発生を認めた圃場では、通常の斑点米カメムシ類の防除適期である穂揃い期から乳熟期の防除に加え、発生状況に応じて出穂期の防除を行う。
- 4) 防除対策の詳細は「佐賀県総合防除計画(佐賀県病害虫防除のてびき)」を参照する。

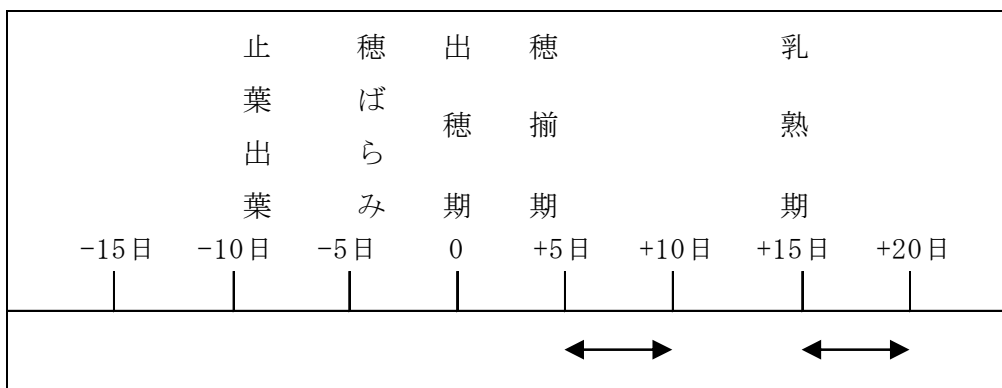


図1 斑点米カメムシ類の防除適期

○佐賀県総合防除計画（病虫害防除のてびき）

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00321928/index.html>



連絡先：佐賀県農業技術防除センター 病虫害防除部

〒840 - 2205 佐賀市川副町南里 1088

TEL (0952)45 - 8153 FAX (0952)45 - 5085

Mail [nougyougijutsu@pref.saga.lg.jp](mailto:nougyougijutsu@pref.saga.lg.jp)

ホームページアドレス <https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00321899/index.html>

